第３次能代市総合計画策定に関する

市民アンケート調査結果

能代市企画部総合政策課

目次

調査の目的・調査概要・調査項目 P1

Ⅰ あなたご自身について（回答者プロフィール） P2

問 1 性別 P3

問 2 年齢 P3

問 3 家族構成 P4

問 4 居住地区 P4

問 5 居住年数 P4

問 6 ご職業 P4

Ⅱ 市のこれまでの取組について P5

問 7 市のこれまでの取組（重要度・満足度） P5

重要度 P5

満足度 P7

重要度が高い取組（トップ５） P9

満足度が低い取組（ワースト５） P11

問８ 重点的に取り組むべき項目（上位５つまで選択） P14

問９ 問８の中で一番重点的に取り組むべき項目 P17

問 10 市民・各種団体・民間事業者等が主体となり、取り組むことで効果が高まると思う項目（上位５つまで選択） P20

問 11 人口減少が地域に及ぼす影響として、心配・懸念される項目（上位５つまで選択） P23

Ⅲ 持続可能な地域社会の形成について P26

問 12 持続可能な地域社会の形成に向け、社会環境の変化に対応し、地域経済の活力を未来につなぐための取組について P26

(1) 公共サービスを始めとする社会インフラの広域化を進めるべき P26

(2) 必要なサービスの提供体制維持のため、公共施設等の多機能・集約化を

進めるべき..... P26
(3) 若者や女性にも選ばれる地域づくりを進めるべき..... P26
(4) 能代市が持つ独自の資源（産業、技術、自然、文化など）を活用し、デジタル技術や新たなビジネスモデルを掛け合わせることで、持続可能な地域経済の発展と雇用創出を目指すべき P27
(5) AI・デジタルなどの新技術の活用を徹底すべき..... P27
(6) 都市と地方の共生・循環（都市部人材の活用、関係人口拡大）を進めるべき..... P27
年代別集計..... P28
地域別集計..... P30

調査の目的

次期総合計画の策定にあたり、今後のまちづくりの検討を行う際の基礎資料とする。

調査概要

調査対象：市内に在住する満 18 歳以上の方 2,000 人

抽出方法：住民基本台帳から年齢区分毎に無作為抽出

調査方法：郵送またはインターネットによる回答方式

調査期間：令和 8 年 8 月 12 日（水）～令和 8 年 9 月 11 日（金）

回 収 率：35.4%（708 人／2,000 人）

参　　考：前回（R4 年度）37.7%（754 人／2,000 人）

調査項目

Ⅰ　あなたご自身について（回答者プロフィール）　【問 1～6 】

Ⅱ　市のこれまでの取組について　【問 7～11】

Ⅲ　持続可能な地域社会の形成について　【問 12　】

※構成比は小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

※調査項目によっては、複数回答があり、合計が 100%にならない項目もあります。

Ⅰ あなたご自身について（回答者プロフィール）

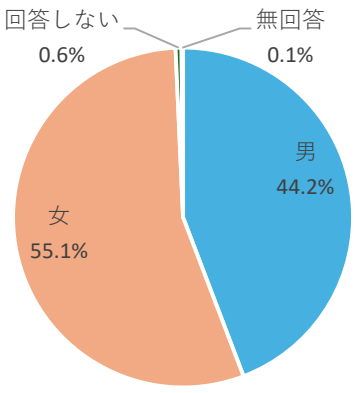
調査結果概要

回答者は、女性が 55.1%と過半数を占め、年代別では 50 代（23.9%）、40 代（20.3%）が中心となった。家族構成では「親と子のみの世帯」（45.5%）が最多で、「1 人世帯」も 22.5%（前回比＋5.9 ポイント）へ増加した。職業では会社員・団体職員（37.9%）に加え、学生の回答割合が増加（前回比＋3.1 ポイント）した。

		回答（R8）		回答（R4）		
		回答数	構成比	回答数	構成比	増減
合計		708	100.0%	754	100.0%	
問1 性別	男性	313	44.2%	339	45.0%	△0.8
	女性	390	55.1%	399	52.9%	2.2
	回答しない	4	0.6%	14	1.9%	△1.3
	無回答	1	0.1%	2	0.3%	△0.2
問2 年代	10 代	32	4.5%	18	2.4%	2.1
	20 代	70	9.9%	75	9.9%	0.0
	30 代	104	14.7%	119	15.8%	△1.1
	40 代	144	20.3%	128	17.0%	3.3
	50 代	169	23.9%	143	19.0%	4.9
	60 代	58	8.2%	164	21.8%	△13.6
	70 代以上	130	18.4%	106	14.1%	4.3
	無回答	1	0.1%	1	0.1%	0.0
問3 家族構成	１人世帯	159	22.5%	125	16.6%	5.9
	夫婦のみの世帯	120	16.9%	177	23.5%	△6.6
	親と子のみの世帯	322	45.5%	304	40.3%	5.2
	３世代以上の世帯	70	9.9%	92	12.2%	△2.3
	その他の世帯	37	5.2%	48	6.4%	△1.2
	無回答	0	0.0%	8	1.1%	△1.1
問4 居住地区	本庁地区	292	41.2%	321	42.6%	△1.4
	向能代地区	113	16.0%	125	16.6%	△0.6
	南地区	104	14.7%	85	11.3%	3.4
	扇淵地区	37	5.2%	32	4.2%	1.0
	檜山地区	7	1.0%	11	1.5%	△0.5
	鶴形地区	7	1.0%	9	1.2%	△0.2
	常盤地区	7	1.0%	21	2.8%	△1.8
	天神地区	8	1.1%	3	0.4%	0.7
	荷上場地区	18	2.5%	9	1.2%	1.3
	二ツ井地区	59	8.3%	63	8.4%	△0.1
	種梅地区	11	1.6%	9	1.2%	0.4

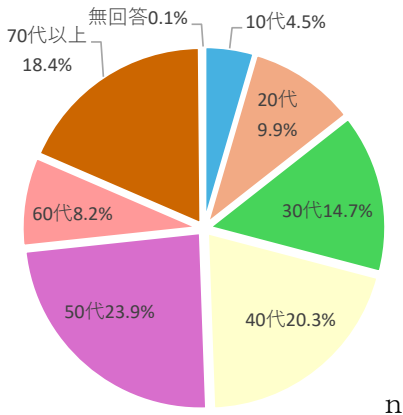
	田代・濁川地区	2	0.3%	0	0.0%	0.3
	切石・苅又石地区	6	0.8%	4	0.5%	0.3
	仁鮒・小掛地区	13	1.8%	4	0.5%	1.3
	富根地区	21	3.0%	12	1.6%	1.4
	その他	0	0.0%	37	4.9%	△4.9
	無回答	3	0.4%	9	1.2%	△0.8
問5居住年数	１年未満	38	5.4%	52	6.9%	△1.5
	１年以上５年未満	68	9.6%	97	12.9%	△3.3
	５年以上１０年未満	69	9.7%	55	7.3%	2.4
	１０年以上２０年未満	147	20.8%	113	15.0%	5.8
	２０年以上３０年未満	98	13.8%	133	17.6%	△3.8
	３０年以上	286	40.4%	303	40.2%	0.2
	無回答	2	0.3%	1	0.1%	0.2
問6ご職業	農林漁業	20	2.8%	25	3.3%	△0.5
	商工（自営業）	32	4.5%	39	5.2%	△0.7
	会社員・団体職員	268	37.9%	254	33.7%	4.2
	公務員	45	6.4%	57	7.6%	△1.2
	非正規の職員・従業員	102	14.4%	130	17.2%	△2.8
	学生	41	5.8%	20	2.7%	3.1
	家事専業	44	6.2%	71	9.4%	△3.2
	無職	138	19.5%	126	16.7%	2.8
	その他	17	2.4%	29	3.8%	△1.4
	無回答	1	0.1%	3	0.4%	△0.3

問１　性別



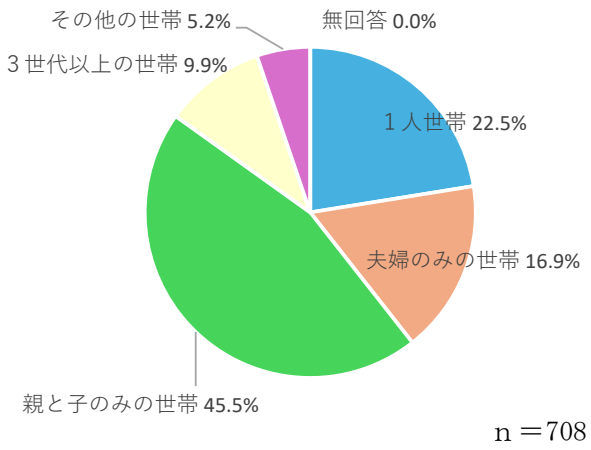
n＝708

問２　年代

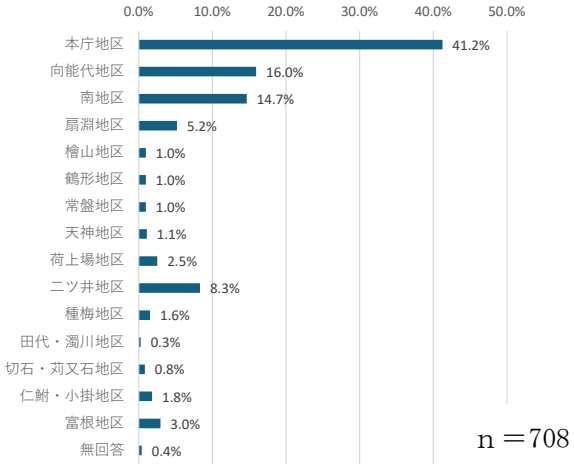


n＝708

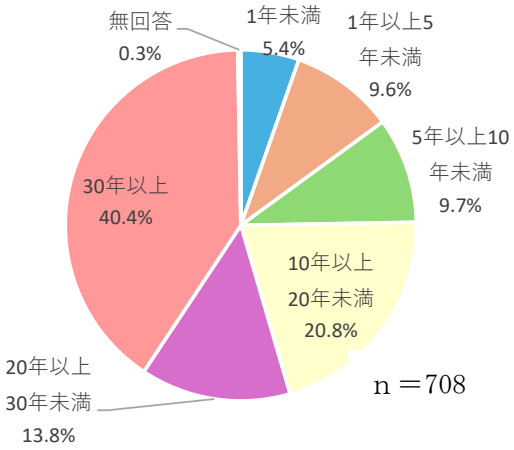
問３　家族構成



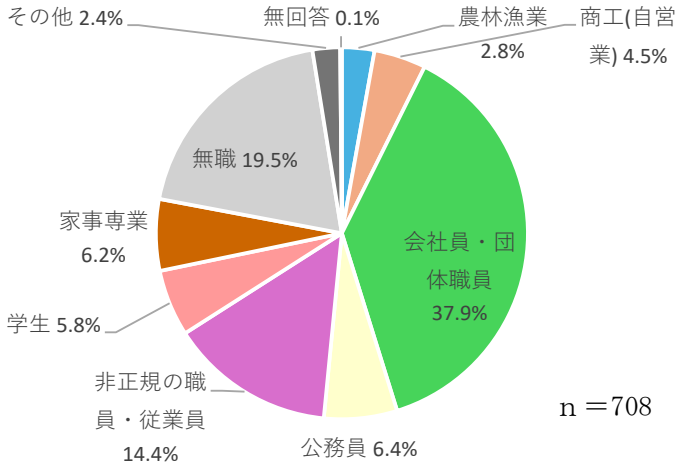
問４　居住地区



問５　居住年数



問６　ご職業



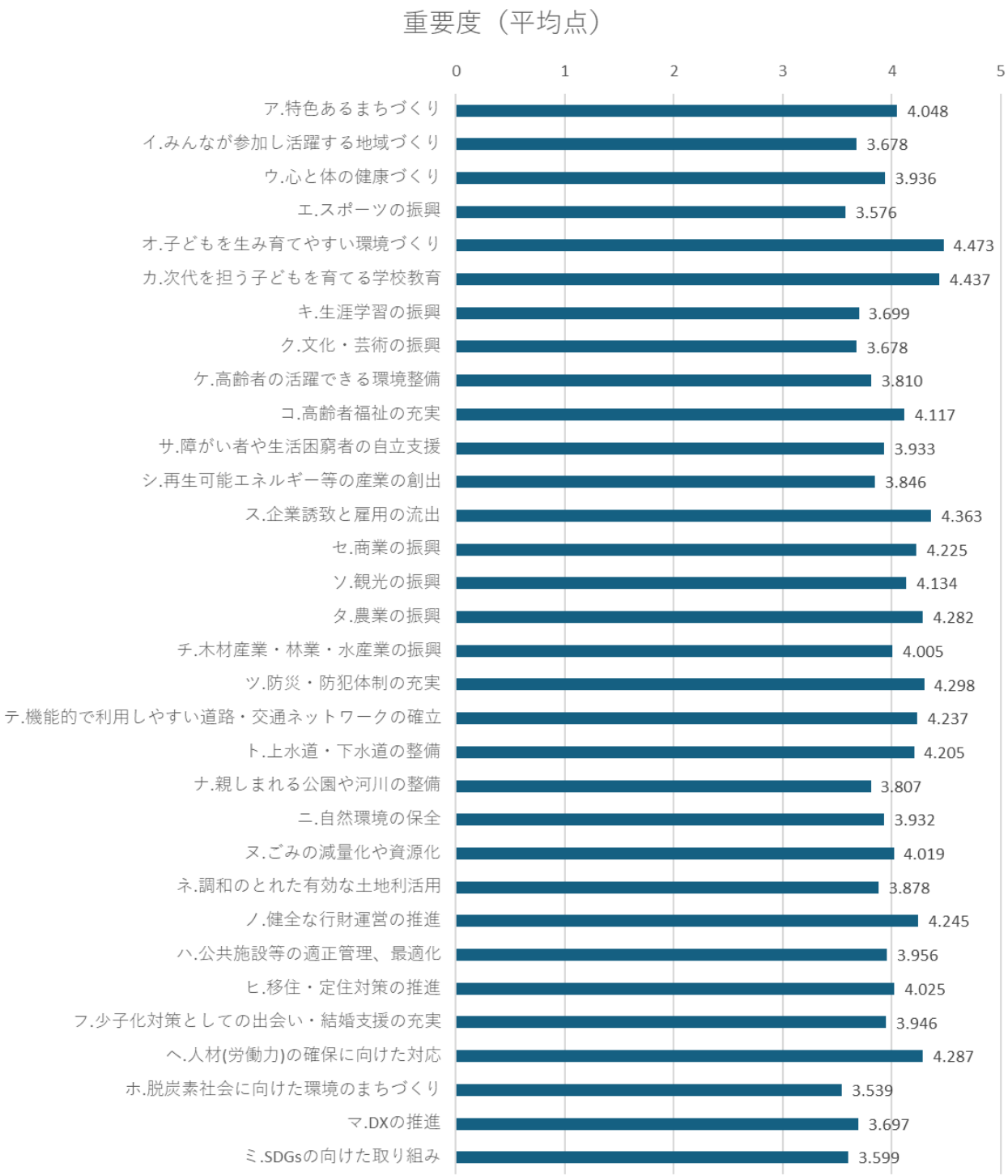
Ⅱ　市のこれまでの取組について

問７．市のこれまでの取組について（重要度・満足度）

重要度は「オ 子どもを生み育てやすい環境づくり」(4.473)、「カ 次代を担う子どもを育てる学校教育」(4.437)、「ス 企業誘致と雇用の創出」(4.363) が上位を占めた。前回比では「テ 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立」(＋0.173)、「ト 上水道・下水道の整備」(＋0.169)、「タ 農業の振興」(＋0.164) などの重要度が上昇した一方、「ホ 脱炭素社会に向けた環境のまちづくり」(△0.261)、「ミ ＳＤＧｓに向けた取組」(△0.226) は低下した。

【重要度】

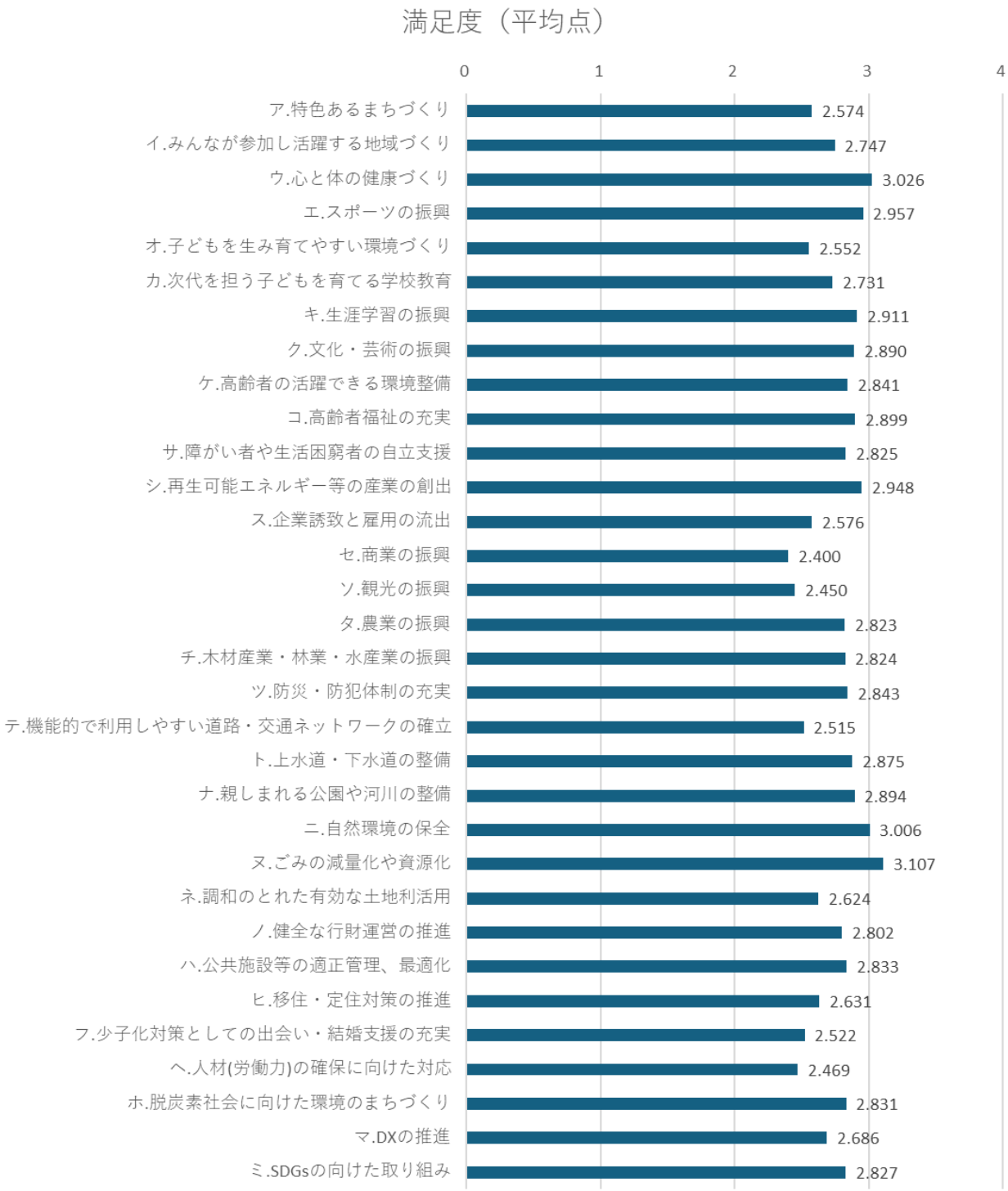
市の取組	重要度（平均点）		増減
	R8 回答	R4 回答	
ア　特色あるまちづくり	4.048	4.035	0.013
イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	3.678	3.643	0.035
ウ　心と体の健康づくり	3.936	3.917	0.019
エ　スポーツの振興	3.576	3.630	△0.054
オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.473	4.565	△0.092
カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.437	4.495	△0.058
キ　生涯学習の振興	3.699	3.650	0.049
ク　文化・芸術の振興	3.678	3.580	0.098
ケ　高齢者の活躍できる環境整備	3.810	3.773	0.037
コ　高齢者福祉の充実	4.117	4.027	0.090
サ　障がい者や生活困窮者の自立支援	3.933	4.032	△0.099
シ　再生可能エネルギー等の産業の創出	3.846	3.961	△0.115
ス　企業誘致と雇用の創出	4.363	4.329	0.034
セ　商業の振興	4.225	4.166	0.059
ソ　観光の振興	4.134	4.017	0.117
タ　農業の振興	4.282	4.118	0.164
チ　木材産業・林業・水産業の振興	4.005	3.966	0.039
ツ　防災・防犯体制の充実	4.298	4.178	0.120
テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立	4.237	4.064	0.173
ト　上水道・下水道の整備	4.205	4.036	0.169
ナ　親しまれる公園や河川の整備	3.807	3.839	△0.032
ニ　自然環境の保全	3.932	3.962	△0.030
ヌ　ごみの減量化や資源化	4.019	4.074	△0.055
ネ　調和のとれた有効な土地利活用	3.878	3.846	0.032
ノ　健全な行財政運営の推進	4.245	4.174	0.071
ハ　公共施設等の適正管理、最適化	3.956	3.858	0.098
ヒ　移住・定住対策の推進	4.025	3.971	0.054
フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	3.946	3.890	0.056
ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.287	4.260	0.027
ホ　脱炭素社会に向けた環境のまちづくり	3.539	3.800	△0.261
マ　ＤＸの推進	3.697	3.729	△0.032
ミ　ＳＤＧｓに向けた取組	3.599	3.825	△0.226


重要度（平均点）
0
1
2
3
4
5
ア.特色あるまちづくり 4.048
イ.みんなが参加し活躍する地域づくり 3.678
ウ.心と体の健康づくり 3.936
エ.スポーツの振興 3.576
オ.子どもを生み育てやすい環境づくり 4.473
カ.次代を担う子どもを育てる学校教育 4.437
キ.生涯学習の振興 3.699
ク.文化・芸術の振興 3.678
ケ.高齢者の活躍できる環境整備 3.810
コ.高齢者福祉の充実 4.117
サ.障がい者や生活困窮者の自立支援 3.933
シ.再生可能エネルギー等の産業の創出 3.846
ス.企業誘致と雇用の流出 4.363
セ.商業の振興 4.225
ソ.観光の振興 4.134
タ.農業の振興 4.282
チ.木材産業・林業・水産業の振興 4.005
ツ.防災・防犯体制の充実 4.298
テ.機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立 4.237
ト.上水道・下水道の整備 4.205
ナ.親しまれる公園や河川の整備 3.807
ニ.自然環境の保全 3.932
ヌ.ごみの減量化や資源化 4.019
ネ.調和のとれた有効な土地利活用 3.878
ノ.健全な行財運営の推進 4.245
ハ.公共施設等の適正管理、最適化 3.956
ヒ.移住・定住対策の推進 4.025
フ.少子化対策としての出会い・結婚支援の充実 3.946
ヘ.人材(労働力)の確保に向けた対応 4.287
ホ.脱炭素社会に向けた環境のまちづくり 3.539
マ.DXの推進 3.697
ミ.SDGsの向けた取り組み 3.599

満足度は「ヌ　ごみの減量化や資源化」（3.107）、「ウ　心と体の健康づくり」（3.026）が高く、「セ　商業の振興」（2.400）、「ソ　観光の振興」（2.450）、「ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応」（2.469）が低い。

【満足度】

	満足度（平均点）		
	R8 回答	R4 回答	増減
ア　特色あるまちづくり	2.574	2.474	0.100
イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	2.747	2.746	0.001
ウ　心と体の健康づくり	3.026	2.914	0.112
エ　スポーツの振興	2.957	2.963	△0.006
オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	2.552	2.399	0.153
カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	2.731	2.662	0.069
キ　生涯学習の振興	2.911	2.919	△0.008
ク　文化・芸術の振興	2.890	2.893	△0.003
ケ　高齢者の活躍できる環境整備	2.841	2.803	0.038
コ　高齢者福祉の充実	2.899	2.847	0.052
サ　障がい者や生活困窮者の自立支援	2.825	2.725	0.100
シ　再生可能エネルギー等の産業の創出	2.948	2.993	△0.045
ス　企業誘致と雇用の創出	2.576	2.583	△0.007
セ　商業の振興	2.400	2.434	△0.034
ソ　観光の振興	2.450	2.463	△0.013
タ　農業の振興	2.823	2.790	0.033
チ　木材産業・林業・水産業の振興	2.824	2.769	0.055
ツ　防災・防犯体制の充実	2.843	2.911	△0.068
テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立	2.515	2.640	△0.125
ト　上水道・下水道の整備	2.875	2.849	0.026
ナ　親しまれる公園や河川の整備	2.894	2.922	△0.028
ニ　自然環境の保全	3.006	2.985	0.021
ヌ　ごみの減量化や資源化	3.107	3.024	0.083
ネ　調和のとれた有効な土地利活用	2.624	2.620	0.004
ノ　健全な行財政運営の推進	2.802	2.788	0.014
ハ　公共施設等の適正管理、最適化	2.833	2.837	△0.004
ヒ　移住・定住対策の推進	2.631	2.570	0.061
フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.522	2.593	△0.071
ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.469	2.432	0.037
ホ　脱炭素社会に向けた環境のまちづくり	2.831	3.255	△0.424
マ　ＤＸの推進	2.686	2.538	0.148
ミ　ＳＤＧｓに向けた取組	2.827	2.762	0.065


満足度（平均点）
0
1
2
3
4
ア.特色あるまちづくり 2.574
イ.みんなが参加し活躍する地域づくり 2.747
ウ.心と体の健康づくり 3.026
エ.スポーツの振興 2.957
オ.子どもを生み育てやすい環境づくり 2.552
カ.次代を担う子どもを育てる学校教育 2.731
キ.生涯学習の振興 2.911
ク.文化・芸術の振興 2.890
ケ.高齢者の活躍できる環境整備 2.841
コ.高齢者福祉の充実 2.899
サ.障がい者や生活困窮者の自立支援 2.825
シ.再生可能エネルギー等の産業の創出 2.948
ス.企業誘致と雇用の流出 2.576
セ.商業の振興 2.400
ソ.観光の振興 2.450
タ.農業の振興 2.823
チ.木材産業・林業・水産業の振興 2.824
ツ.防災・防犯体制の充実 2.843
テ.機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立 2.515
ト.上水道・下水道の整備 2.875
ナ.親しまれる公園や河川の整備 2.894
ニ.自然環境の保全 3.006
ヌ.ごみの減量化や資源化 3.107
ネ.調和のとれた有効な土地利活用 2.624
ノ.健全な行財運営の推進 2.802
ハ.公共施設等の適正管理、最適化 2.833
ヒ.移住・定住対策の推進 2.631
フ.少子化対策としての出会い・結婚支援の充実 2.522
ヘ.人材(労働力)の確保に向けた対応 2.469
ホ.脱炭素社会に向けた環境のまちづくり 2.831
マ.DXの推進 2.686
ミ.SDGsの向けた取り組み 2.827

重要度が高い取組（トップ５）

前回同様、子育て・教育・雇用に関する重要度が高い。

【前回（令和４年）】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.565
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.495
3	ス　企業誘致と雇用の創出	4.329
4	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.260
5	ツ　防災・防犯体制の充実	4.178

【今回（令和８年）】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.473
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.437
3	ス　企業誘致と雇用の創出	4.363
4	ツ　防災・防犯体制の充実	4.298
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.287

重要度の年代別分析では、全世代を通じて「子育て・教育」への関心が高い一方、若年層と高齢層で明確な差が見られた。10～30 代では「テ 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク」や「セ 商業の振興」「ソ 観光の振興」などが上位に入るのに対し、70 代以上では「ス 企業誘致と雇用の創出」が最重要項目となっている。

【１０代】

		重要度
1	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.563
2	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.531
3	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	4.438
4	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.387
5	ニ　自然環境の保全	4.375

【２０代】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.597
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.426
3	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	4.324
4	ソ　観光の振興	4.265
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.250

【３０代】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.657
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.495
3	セ　商業の振興	4.347
4	タ　農業の振興	4.340
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.305

【４０代】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.421
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.403
3	ス　企業誘致と雇用の創出	4.375
4	ツ　防災・防犯体制の充実	4.333
5	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	4.321

【５０代】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.410
2	ス　企業誘致と雇用の創出	4.391
3	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.374
4	ツ　防災・防犯体制の充実	4.345
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.335

【６０代】

		重要度
1	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.500
2	ス　企業誘致と雇用の創出	4.370
3	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.321
4	ツ　防災・防犯体制の充実	4.273
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.255

【７０代以上】

		重要度
1	ス　企業誘致と雇用の創出	4.546
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.455
3	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.442
4	タ　農業の振興	4.390
5	ト　上水道・下水道の整備	4.317

【能代地域】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.468
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.431
3	ス　企業誘致と雇用の創出	4.356
4	ツ　防災・防犯体制の充実	4.287
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.284

【二ツ井地域】

		重要度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	4.508
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.478
3	ス　企業誘致と雇用の創出	4.421
4	ツ　防災・防犯体制の充実	4.363
5	コ　高齢者福祉の充実	4.341

満足度が低い取組（ワースト５）

前回同様、商業・観光・雇用関係の満足度が低い一方で、前回満足度が最も低かった「オ　子どもを生み育てやすい環境づくり」がランク外となった。

【前回（令和４年）】

		満足度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	2.399
2	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.432
3	セ　商業の振興	2.434
4	ソ　観光の振興	2.463
5	ア　特色あるまちづくり	2.474

【今回（令和８年）】

		満足度
1	セ　商業の振興	2.400
2	ソ　観光の振興	2.450
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.469
4	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.515
5	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.522

満足度の年代別分析では、満足度は 40～50 代で「セ 商業の振興」「ソ 観光の振興」「ヘ 人材（労働力）確保に向けた対応」が全世代で特に低い。

【１０代】

		満足度
1	ヒ　移住・定住対策の推進	2.542
2	セ　商業の振興	2.552
3	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.571
4	ソ　観光の振興	2.600
5	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.688

【２０代】

		満足度
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	2.540
2	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.576
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.587
4	セ　商業の振興	2.625
5	ソ　観光の振興	2.627

【３０代】

		満足度
1	セ　商業の振興	2.400
2	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.494
3	ス　企業誘致と雇用の創出	2.548
4	ネ　調和のとれた有効な土地利活用	2.573
5	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.577

【４０代】

		満足度
1	セ　商業の振興	2.318
2	ソ　観光の振興	2.376
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.413
4	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.418
5	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	2.441

【５０代】

		満足度
1	ソ　観光の振興	2.250
2	セ　商業の振興	2.261
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.267
4	ア　特色あるまちづくり	2.320
5	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.322

【６０代】

		満足度
1	ス　企業誘致と雇用の創出	2.327
2	ア　特色あるまちづくり	2.365
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.388
4	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.404
5	セ　商業の振興	2.431

【７０代以上】

		満足度
1	セ　商業の振興	2.509
2	ソ　観光の振興	2.535
3	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.570
4	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	2.626
5	ア　特色あるまちづくり	2.633

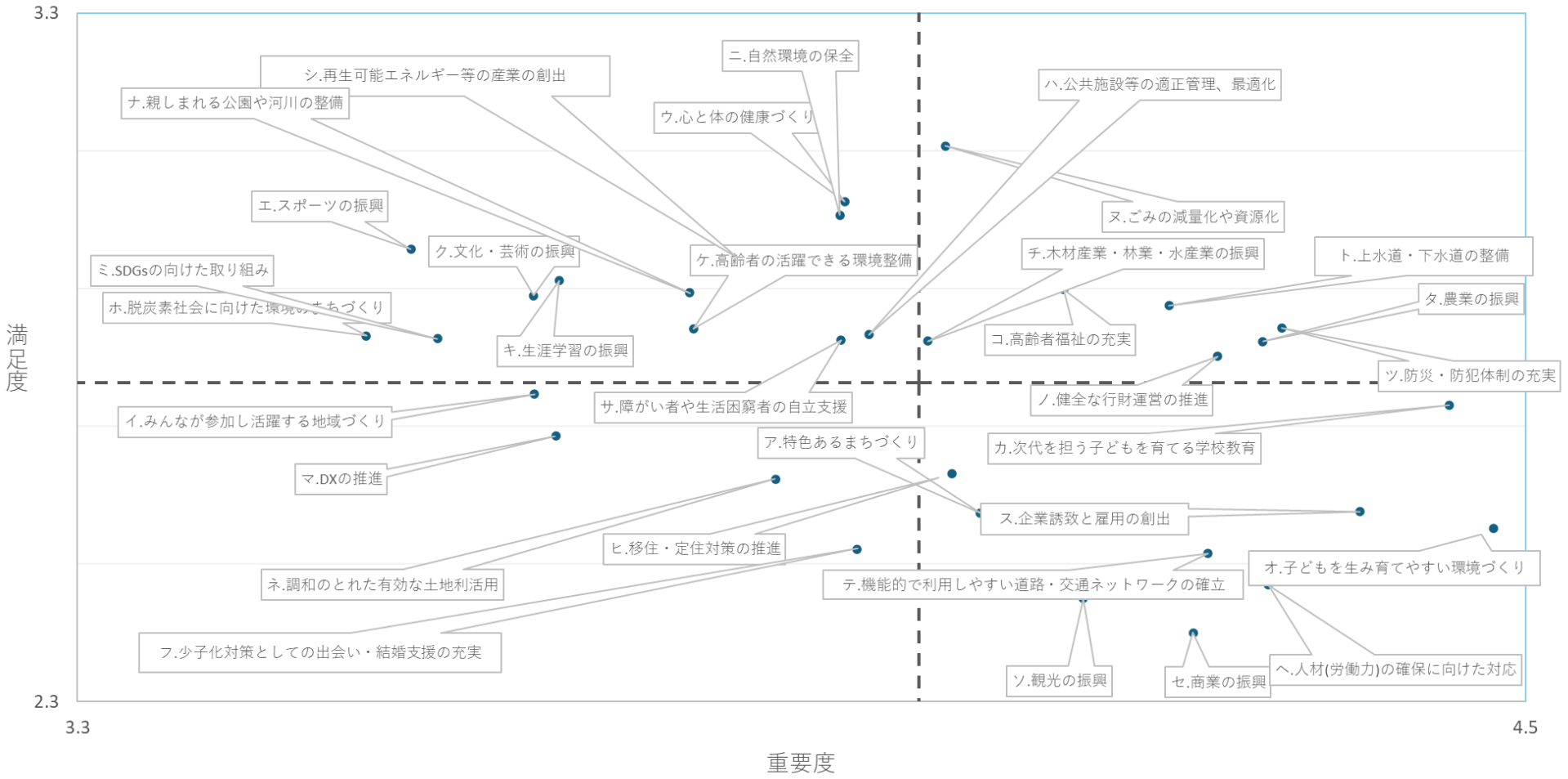
【能代地域】

		満足度
1	セ　商業の振興	2.365
2	ソ　観光の振興	2.407
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.451
4	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.495
5	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.502

【二ツ井地域】

		満足度
1	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	2.545
2	セ　商業の振興	2.546
3	テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	2.563
4	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	2.568
5	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	2.624

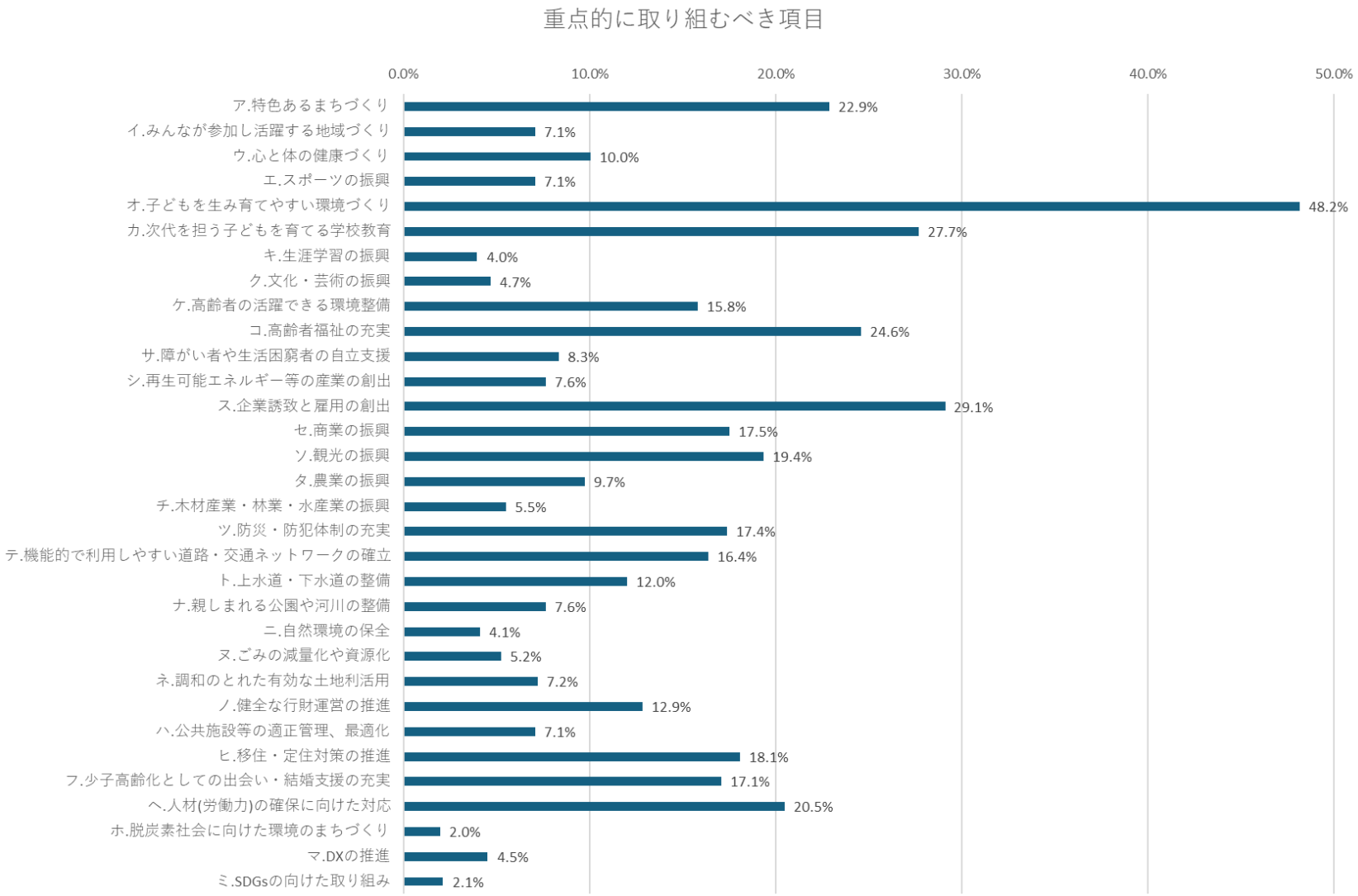
施策別の重要度／満足度の散布図



問８　重点的に取り組むべき項目（上位５つまで選択）

「オ 子どもを生み育てやすい環境づくり」（48.2%）、「ス 企業誘致と雇用の創出」（29.1%）、「カ 次代を担う子どもを育てる学校教育」（27.7%）が続いた。前回比では「ツ 防災・防犯体制の充実」（＋8.1 ポイント）、「ア 特色あるまちづくり」「テ機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立」（＋5.9 ポイント）が大きく上昇している。

	回答割合		
	R8 回答	R4 回答	増減
ア　特色あるまちづくり	22.9%	17.0%	5.9
イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	7.1%	3.7%	3.4
ウ　心と体の健康づくり	10.0%	9.0%	1.0
エ　スポーツの振興	7.1%	4.4%	2.7
オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	48.2%	50.9%	△2.7
カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	27.7%	23.7%	4.0
キ　生涯学習の振興	4.0%	2.3%	1.7
ク　文化・芸術の振興	4.7%	3.7%	1.0
ケ　高齢者の活躍できる環境整備	15.8%	11.4%	4.4
コ　高齢者福祉の充実	24.6%	20.8%	3.8
サ　障がい者や生活困窮者の自立支援	8.3%	11.4%	△3.1
シ　再生可能エネルギー等の産業の創出	7.6%	8.0%	△0.4
ス　企業誘致と雇用の創出	29.1%	28.4%	0.7
セ　商業の振興	17.5%	14.9%	2.6
ソ　観光の振興	19.4%	16.3%	3.1
タ　農業の振興	9.7%	12.3%	△2.6
チ　木材産業・林業・水産業の振興	5.5%	6.2%	△0.7
ツ　防災・防犯体制の充実	17.4%	9.3%	8.1
テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立	16.4%	10.5%	5.9
ト　上水道・下水道の整備	12.0%	9.7%	2.3
ナ　親しまれる公園や河川の整備	7.6%	9.9%	△2.3
ニ　自然環境の保全	4.1%	7.2%	△3.1
ヌ　ごみの減量化や資源化	5.2%	8.1%	△2.9
ネ　調和のとれた有効な土地利活用	7.2%	5.8%	1.4
ノ　健全な行財政運営の推進	12.9%	15.4%	△2.5
ハ　公共施設等の適正管理、最適化	7.1%	6.9%	0.2
ヒ　移住・定住対策の推進	18.1%	20.3%	△2.2
フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	17.1%	17.1%	0.0
ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	20.5%	23.6%	△3.1
ホ　脱炭素社会に向けた環境のまちづくり	2.0%	4.6%	△2.6
マ　ＤＸの推進	4.5%	7.3%	△2.8
ミ　ＳＤＧｓに向けた取組	2.1%	7.7%	△5.6


重点的に取り組むべき項目
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
ア.特色あるまちづくり 22.9%
イ.みんなが参加し活躍する地域づくり 7.1%
ウ.心と体の健康づくり 10.0%
エ.スポーツの振興 7.1%
オ.子どもを生み育てやすい環境づくり 48.2%
カ.次代を担う子どもを育てる学校教育 27.7%
キ.生涯学習の振興 4.0%
ク.文化・芸術の振興 4.7%
ケ.高齢者の活躍できる環境整備 15.8%
コ.高齢者福祉の充実 24.6%
サ.障がい者や生活困窮者の自立支援 8.3%
シ.再生可能エネルギー等の産業の創出 7.6%
ス.企業誘致と雇用の創出 29.1%
セ.商業の振興 17.5%
ソ.観光の振興 19.4%
タ.農業の振興 9.7%
チ.木材産業・林業・水産業の振興 5.5%
ツ.防災・防犯体制の充実 17.4%
テ.機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立 16.4%
ト.上水道・下水道の整備 12.0%
ナ.親しまれる公園や河川の整備 7.6%
ニ.自然環境の保全 4.1%
ヌ.ごみの減量化や資源化 5.2%
ネ.調和のとれた有効な土地利活用 7.2%
ノ.健全な行財運営の推進 12.9%
ハ.公共施設等の適正管理、最適化 7.1%
ヒ.移住・定住対策の推進 18.1%
フ.少子高齢化としての出会い・結婚支援の充実 17.1%
ヘ.人材(労働力)の確保に向けた対応 20.5%
ホ.脱炭素社会に向けた環境のまちづくり 2.0%
マ.DXの推進 4.5%
ミ.SDGsの向けた取り組み 2.1%

【１０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	43.8%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	34.4%
3	セ　商業の振興	31.3%
3	ヒ　移住・定住対策の推進	31.3%
3	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	31.3%

【２０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	58.6%
2	ソ　観光の振興	31.4%
3	ス　企業誘致と雇用の創出	27.1%
4	ヒ　移住・定住対策の推進	25.7%
4	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	25.7%

【３０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	61.5%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	39.4%
3	ス　企業誘致と雇用の創出	27.9%
4	セ　商業の振興	24.0%
5	ア　特色あるまちづくり	22.1%

【４０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	50.7%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	28.5%
2	ス　企業誘致と雇用の創出	28.5%
4	コ　高齢者福祉の充実	27.8%
5	ア　特色あるまちづくり	20.1%

【５０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	43.8%
2	ス　企業誘致と雇用の創出	28.4%
3	コ　高齢者福祉の充実	27.8%
4	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	25.4%
5	ア　特色あるまちづくり	24.9%

【６０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	39.7%
2	コ　高齢者福祉の充実	34.5%
3	ス　企業誘致と雇用の創出	31.0%
4	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	29.3%
5	ヒ　移住・定住対策の推進	22.4%
5	ア　特色あるまちづくり	22.4%

【７０代以上】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	40.0%
2	ス　企業誘致と雇用の創出	34.6%
3	コ　高齢者福祉の充実	27.7%
4	ア　特色あるまちづくり	24.6%
5	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	23.1%

【能代地域】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	48.7%
2	ス　企業誘致と雇用の創出	30.5%
3	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	29.8%
4	ア　特色あるまちづくり	23.3%
5	コ　高齢者福祉の充実	23.1%

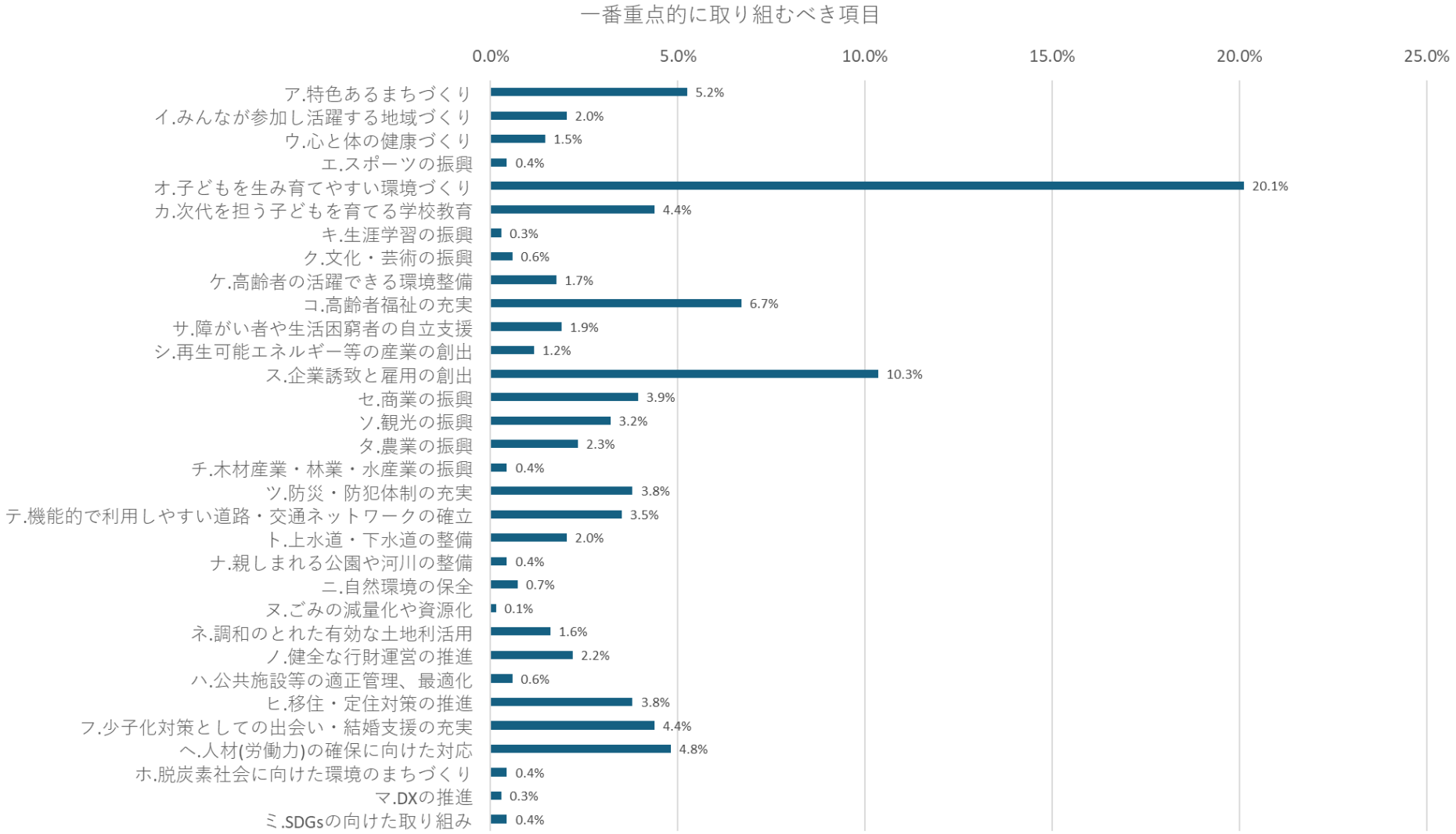
【二ツ井地域】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	47.1%
2	コ　高齢者福祉の充実	31.2%
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	24.6%
4	ス　企業誘致と雇用の創出	23.9%
5	ア　特色あるまちづくり	21.7%

問９．問８の中で一番重点的に取り組むべき項目

一番重点的に取り組むべき項目でも「オ 子ども生み育てやすい環境づくり」（20.1%）が最多で、「ス 企業誘致と雇用の創出」（10.3%）、「コ 高齢者福祉の充実」（6.7%）が続いた。

	回答
ア　特色あるまちづくり	5.2%
イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	2.0%
ウ　心と体の健康づくり	1.5%
エ　スポーツの振興	0.4%
オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	20.1%
カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	4.4%
キ　生涯学習の振興	0.3%
ク　文化・芸術の振興	0.6%
ケ　高齢者の活躍できる環境整備	1.7%
コ　高齢者福祉の充実	6.7%
サ　障がい者や生活困窮者の自立支援	1.9%
シ　再生可能エネルギー等の産業の創出	1.2%
ス　企業誘致と雇用の創出	10.3%
セ　商業の振興	3.9%
ソ　観光の振興	3.2%
タ　農業の振興	2.3%
チ　木材産業・林業・水産業の振興	0.4%
ツ　防災・防犯体制の充実	3.8%
テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立	3.5%
ト　上水道・下水道の整備	2.0%
ナ　親しまれる公園や河川の整備	0.4%
ニ　自然環境の保全	0.7%
ヌ　ごみの減量化や資源化	0.1%
ネ　調和のとれた有効な土地利活用	1.6%
ノ　健全な行財政運営の推進	2.2%
ハ　公共施設等の適正管理、最適化	0.6%
ヒ　移住・定住対策の推進	3.8%
フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	4.4%
ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	4.8%
ホ　脱炭素社会に向けた環境のまちづくり	0.4%
マ　ＤＸの推進	0.3%
ミ　ＳＤＧｓに向けた取組	0.4%


一番重点的に取り組むべき項目
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
ア.特色あるまちづくり 5.2%
イ.みんなが参加し活躍する地域づくり 2.0%
ウ.心と体の健康づくり 1.5%
エ.スポーツの振興 0.4%
オ.子どもを生み育てやすい環境づくり 20.1%
カ.次代を担う子どもを育てる学校教育 4.4%
キ.生涯学習の振興 0.3%
ク.文化・芸術の振興 0.6%
ケ.高齢者の活躍できる環境整備 1.7%
コ.高齢者福祉の充実 6.7%
サ.障がい者や生活困窮者の自立支援 1.9%
シ.再生可能エネルギー等の産業の創出 1.2%
ス.企業誘致と雇用の創出 10.3%
セ.商業の振興 3.9%
ソ.観光の振興 3.2%
タ.農業の振興 2.3%
チ.木材産業・林業・水産業の振興 0.4%
ツ.防災・防犯体制の充実 3.8%
テ.機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立 3.5%
ト.上水道・下水道の整備 2.0%
ナ.親しまれる公園や河川の整備 0.4%
ニ.自然環境の保全 0.7%
ヌ.ごみの減量化や資源化 0.1%
ネ.調和のとれた有効な土地利活用 1.6%
ノ.健全な行財運営の推進 2.2%
ハ.公共施設等の適正管理、最適化 0.6%
ヒ.移住・定住対策の推進 3.8%
フ.少子化対策としての出会い・結婚支援の充実 4.4%
ヘ.人材(労働力)の確保に向けた対応 4.8%
ホ.脱炭素社会に向けた環境のまちづくり 0.4%
マ.DXの推進 0.3%
ミ.SDGsの向けた取り組み 0.4%

年代	一番重点的に取り組むべき項目
10 代	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり
20 代	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり
30 代	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり
40 代	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり
50 代	ス　企業誘致と雇用の創出
60 代	コ　高齢者福祉の充実
70 代以上	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり

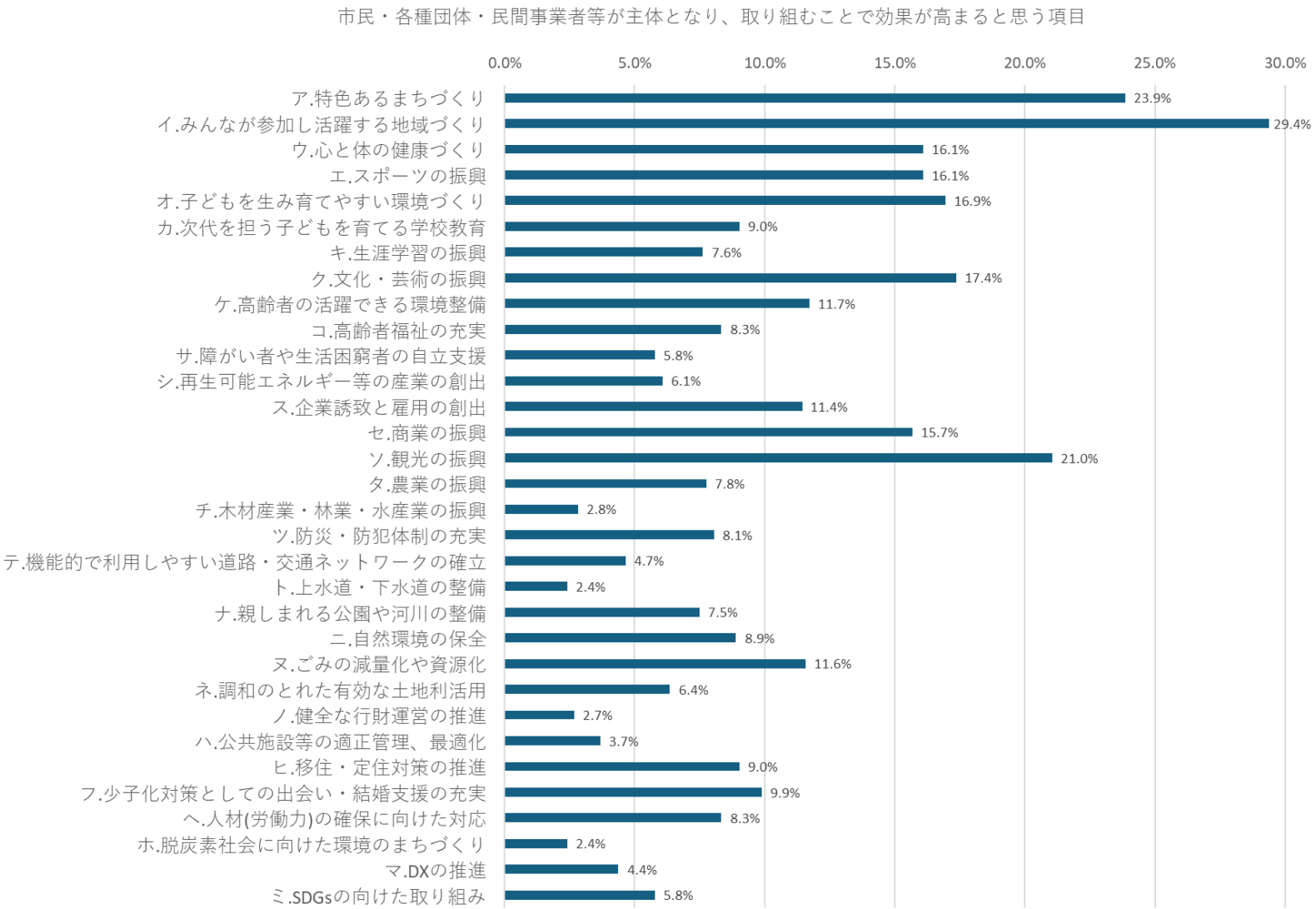
地区別	一番重点的に取り組むべき項目
能代地域	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり
二ツ井地域	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり

年代別でも 50 代（企業誘致と雇用の創出）・60 代（高齢者福祉の充実）を除く全世代で「オ　子どもを生み育てやすい環境づくり」が最多となった。

問 10. 市民・各種団体・民間事業者等が主体となり、取り組むことで効果が高まると思う項目（上位５つまで選択）

「イ みんなが参加し活躍する地域づくり」（29.4%、前回比＋10.6 ポイント）が最も高く、「ア 特色あるまちづくり」（23.9%）、「ソ 観光の振興」（21.0%）、が続いた。

	回答割合		
	R8 回答	R4 回答	増減
ア　特色あるまちづくり	23.9%	19.1%	4.8
イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	29.4%	18.8%	10.6
ウ　心と体の健康づくり	16.1%	13.9%	2.2
エ　スポーツの振興	16.1%	12.6%	3.5
オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	16.9%	12.6%	4.3
カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	9.0%	6.2%	2.8
キ　生涯学習の振興	7.6%	6.4%	1.2
ク　文化・芸術の振興	17.4%	14.2%	3.2
ケ　高齢者の活躍できる環境整備	11.7%	9.2%	2.5
コ　高齢者福祉の充実	8.3%	7.3%	1.0
サ　障がい者や生活困窮者の自立支援	5.8%	6.8%	△1.0
シ　再生可能エネルギー等の産業の創出	6.1%	7.3%	△1.2
ス　企業誘致と雇用の創出	11.4%	10.6%	0.8
セ　商業の振興	15.7%	17.4%	△1.7
ソ　観光の振興	21.0%	18.6%	2.4
タ　農業の振興	7.8%	8.2%	△0.4
チ　木材産業・林業・水産業の振興	2.8%	5.3%	△2.5
ツ　防災・防犯体制の充実	8.1%	12.2%	△4.1
テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立	4.7%	5.2%	△0.5
ト　上水道・下水道の整備	2.4%	2.1%	0.3
ナ　親しまれる公園や河川の整備	7.5%	9.7%	△2.2
ニ　自然環境の保全	8.9%	12.7%	△3.8
ヌ　ごみの減量化や資源化	11.6%	20.3%	△8.7
ネ　調和のとれた有効な土地利活用	6.4%	7.2%	△0.8
ノ　健全な行財政運営の推進	2.7%	2.8%	△0.1
ハ　公共施設等の適正管理、最適化	3.7%	7.6%	△3.9
ヒ　移住・定住対策の推進	9.0%	11.4%	△2.4
フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	9.9%	15.4%	△5.5
ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	8.3%	15.6%	△7.3
ホ　脱炭素社会に向けた環境のまちづくり	2.4%	8.4%	△6.0
マ　ＤＸの推進	4.4%	7.8%	△3.4
ミ　ＳＤＧｓに向けた取組	5.8%	15.8%	△10.0


市民・各種団体・民間事業者等が主体となり、取り組むことで効果が高まると思う項目
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
30.0%
ア.特色あるまちづくり 23.9%
イ.みんなが参加し活躍する地域づくり 29.4%
ウ.心と体の健康づくり 16.1%
エ.スポーツの振興 16.1%
オ.子どもを生み育てやすい環境づくり 16.9%
カ.次代を担う子どもを育てる学校教育 9.0%
キ.生涯学習の振興 7.6%
ク.文化・芸術の振興 17.4%
ケ.高齢者の活躍できる環境整備 11.7%
コ.高齢者福祉の充実 8.3%
サ.障がい者や生活困窮者の自立支援 5.8%
シ.再生可能エネルギー等の産業の創出 6.1%
ス.企業誘致と雇用の創出 11.4%
セ.商業の振興 15.7%
ソ.観光の振興 21.0%
タ.農業の振興 7.8%
チ.木材産業・林業・水産業の振興 2.8%
ツ.防災・防犯体制の充実 8.1%
テ.機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立 4.7%
ト.上水道・下水道の整備 2.4%
ナ.親しまれる公園や河川の整備 7.5%
ニ.自然環境の保全 8.9%
ヌ.ごみの減量化や資源化 11.6%
ネ.調和のとれた有効な土地利活用 6.4%
ノ.健全な行財運営の推進 2.7%
ハ.公共施設等の適正管理、最適化 3.7%
ヒ.移住・定住対策の推進 9.0%
フ.少子化対策としての出会い・結婚支援の充実 9.9%
ヘ.人材(労働力)の確保に向けた対応 8.3%
ホ.脱炭素社会に向けた環境のまちづくり 2.4%
マ.DXの推進 4.4%
ミ.SDGsの向けた取り組み 5.8%

【１０代】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	46.9%
2	セ　商業の振興	28.1%
2	ソ　観光の振興	28.1%
4	ウ　心と体の健康づくり	21.9%
4	ク　文化・芸術の振興	21.9%

【２０代】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	35.7%
2	ア　特色あるまちづくり	18.6%
2	ソ　観光の振興	18.6%
4	セ　商業の振興	15.7%
5	ナ　親しまれる公園や河川の整備	14.3%

【３０代】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	31.7%
2	ア　特色あるまちづくり	22.1%
3	ウ　心と体の健康づくり	17.3%
4	ヌ　ごみの減量化や資源化	16.3%
4	ク　文化・芸術の振興	16.3%

【４０代】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	25.7%
2	ア　特色あるまちづくり	22.9%
3	ソ　観光の振興	18.8%
4	セ　商業の振興	18.1%
4	ク　文化・芸術の振興	18.1%

【５０代】

		回答割合
1	ア　特色あるまちづくり	27.8%
2	ソ　観光の振興	24.9%
3	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	23.1%
4	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	20.1%
5	ウ　心と体の健康づくり	19.5%

【６０代】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	31.0%
2	ア　特色あるまちづくり	27.6%
3	エ　スポーツの振興	25.9%
4	ソ　観光の振興	19.0%
4	コ　高齢者福祉の充実	19.0%

【７０代以上】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	31.5%
2	ソ　観光の振興	23.8%
2	ア　特色あるまちづくり	23.8%
4	ク　文化・芸術の振興	21.5%
5	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	20.0%

【能代地域】

		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	30.5%
2	ア　特色あるまちづくり	24.2%
3	ソ　観光の振興	22.8%
4	ク　文化・芸術の振興	18.7%
5	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	17.3%

【二ツ井地域】

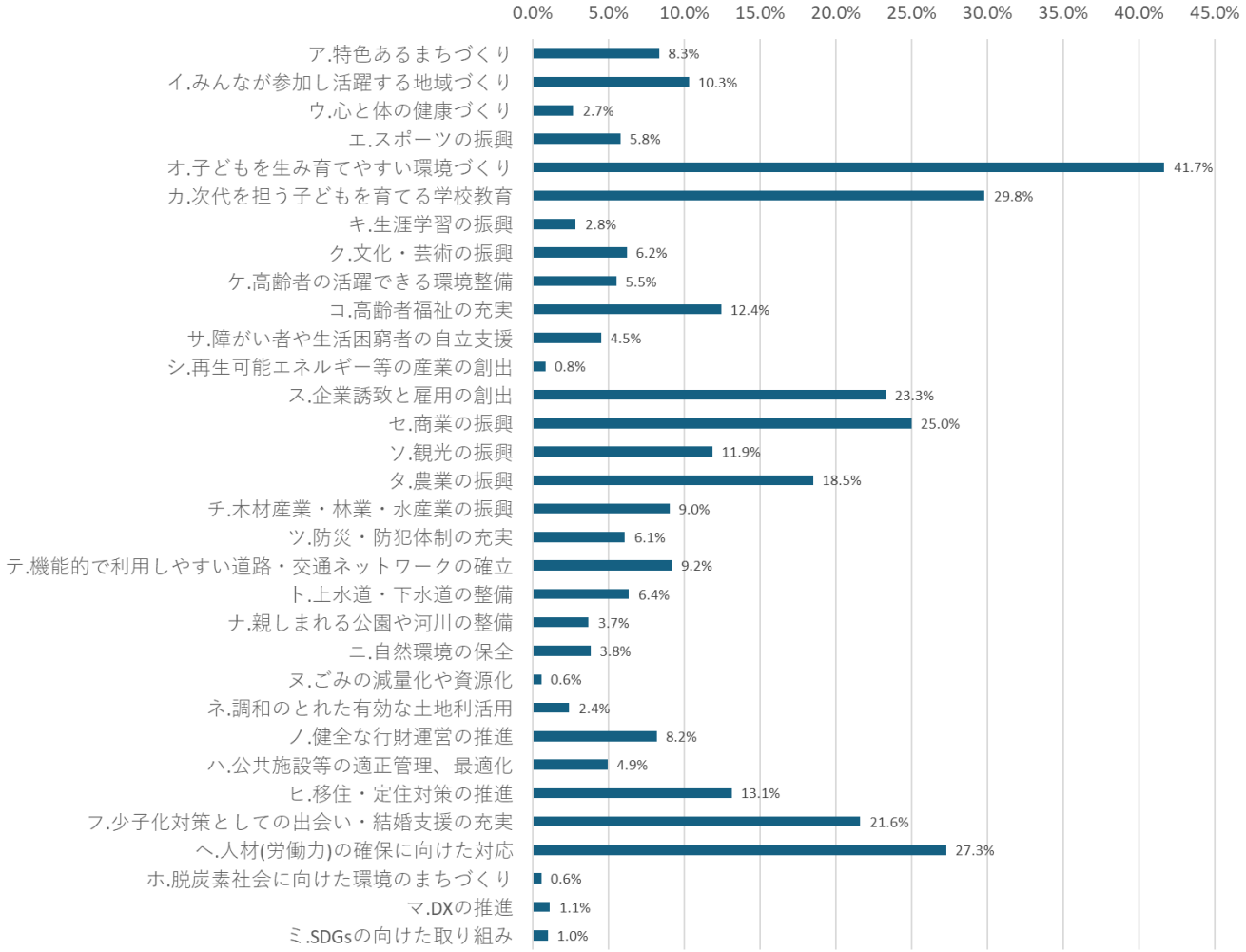
		回答割合
1	イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	24.6%
2	ア　特色あるまちづくり	22.5%
3	ケ　高齢者の活躍できる環境整備	17.4%
3	ウ　心と体の健康づくり	17.4%
5	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	15.9%

問 11. 人口減少が地域に及ぼす影響として、心配・懸念される項目（上位５つまで選択）

「オ 子どもを生み育てやすい環境づくり」（41.7%）、「カ 次代を担う子どもを育てる学校教育」（29.8%）、「ヘ 人材（労働力）の確保に向けた対応」（27.3%）、「セ 商業の振興」（25.0%）が上位を占めた。

	回答割合
ア　特色あるまちづくり	8.3%
イ　みんなが参加し活躍する地域づくり	10.3%
ウ　心と体の健康づくり	2.7%
エ　スポーツの振興	5.8%
オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	41.7%
カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	29.8%
キ　生涯学習の振興	2.8%
ク　文化・芸術の振興	6.2%
ケ　高齢者の活躍できる環境整備	5.5%
コ　高齢者福祉の充実	12.4%
サ　障がい者や生活困窮者の自立支援	4.5%
シ　再生可能エネルギー等の産業の創出	0.8%
ス　企業誘致と雇用の創出	23.3%
セ　商業の振興	25.0%
ソ　観光の振興	11.9%
タ　農業の振興	18.5%
チ　木材産業・林業・水産業の振興	9.0%
ツ　防災・防犯体制の充実	6.1%
テ　機能的で利用しやすい道路・交通ネットワークの確立	9.2%
ト　上水道・下水道の整備	6.4%
ナ　親しまれる公園や河川の整備	3.7%
ニ　自然環境の保全	3.8%
ヌ　ごみの減量化や資源化	0.6%
ネ　調和のとれた有効な土地利活用	2.4%
ノ　健全な行財政運営の推進	8.2%
ハ　公共施設等の適正管理、最適化	4.9%
ヒ　移住・定住対策の推進	13.1%
フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	21.6%
ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	27.3%
ホ　脱炭素社会に向けた環境のまちづくり	0.6%
マ　ＤＸの推進	1.1%
ミ　ＳＤＧｓに向けた取組	1.0%

人口減少が地域に及ぼす影響として、心配・懸念される項目



【１０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	43.8%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	34.4%
3	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	31.3%
4	セ　商業の振興	28.1%
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	21.9%

【２０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	38.6%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	25.7%
3	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	24.3%
4	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	22.9%
5	セ　商業の振興	15.7%
5	ス　企業誘致と雇用の創出	15.7%
5	ヒ　移住・定住対策の推進	15.7%

【３０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	43.3%
2	セ　商業の振興	28.8%
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	26.0%
4	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	25.0%
5	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	23.1%

【４０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	45.1%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	32.6%
3	セ　商業の振興	29.2%
4	ス　企業誘致と雇用の創出	25.7%
5	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	24.3%

【５０代】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	47.9%
2	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	39.6%
3	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	33.3%
4	セ　商業の振興	29.2%
5	ス　企業誘致と雇用の創出	28.5%

【６０代】

		回答割合
1	セ　商業の振興	32.8%
2	ス　企業誘致と雇用の創出	31.0%
3	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	29.3%
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	29.3%
3	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	29.3%

【７０代以上】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	46.2%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	33.8%
3	ス　企業誘致と雇用の創出	29.2%
4	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	26.2%
5	フ　少子化対策としての出会い・結婚支援の充実	23.8%

【能代地域】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	41.8%
2	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	31.4%
3	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	28.0%
4	セ　商業の振興	24.3%
5	ス　企業誘致と雇用の創出	22.2%

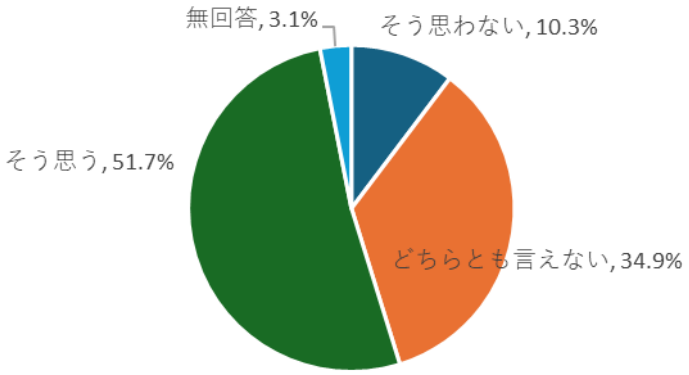
【二ツ井地域】

		回答割合
1	オ　子どもを生み育てやすい環境づくり	42.0%
2	セ　商業の振興	28.3%
2	ス　企業誘致と雇用の創出	28.3%
4	カ　次代を担う子どもを育てる学校教育	23.9%
4	ヘ　人材（労働力）の確保に向けた対応	23.9%

Ⅲ 持続可能な地域社会の形成について

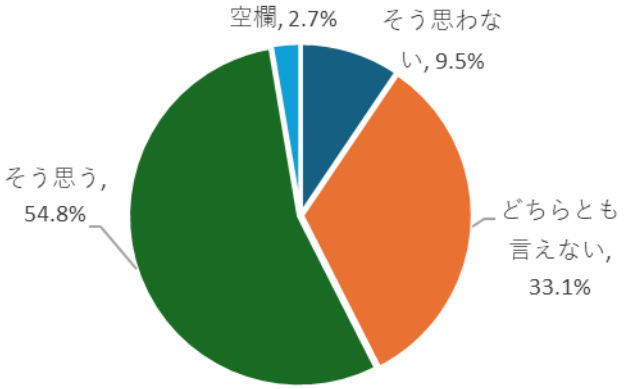
問 12. 持続可能な地域社会の形成に向け、社会環境の変化に対応し、地域経済の活力を未来につなぐための取組について

（１）公共サービスを始めとする社会インフラの広域化を進めるべき



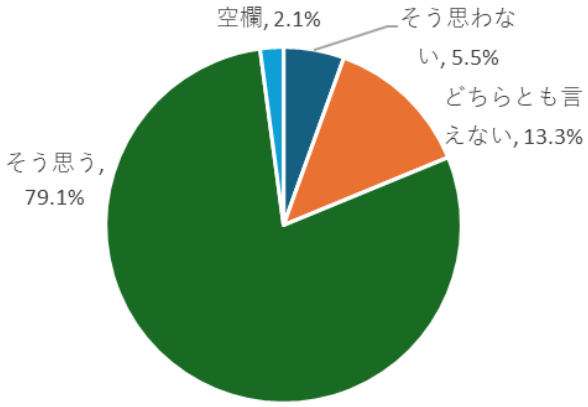
n=708

（２）必要なサービスの提供体制維持のため、公共施設等の多機能・集約化を進めるべき



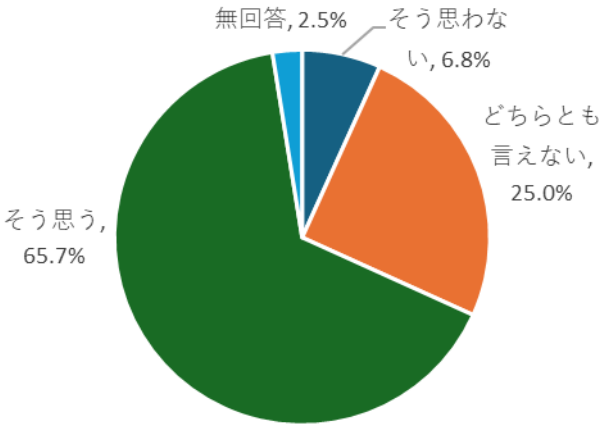
n=708

（３）若者や女性にも選ばれる地域づくりを進めるべき



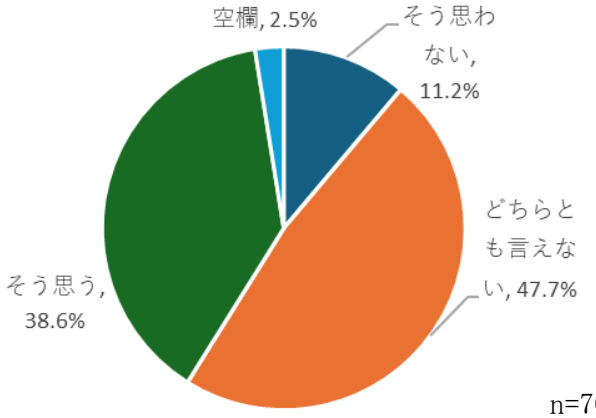
n=708

（４）能代市が持つ独自の資源（産業、技術、自然、文化など）を活用し、デジタル技術や新たなビジネスモデルを掛け合わせることで、持続可能な地域経済の発展と雇用創出を目指すべき



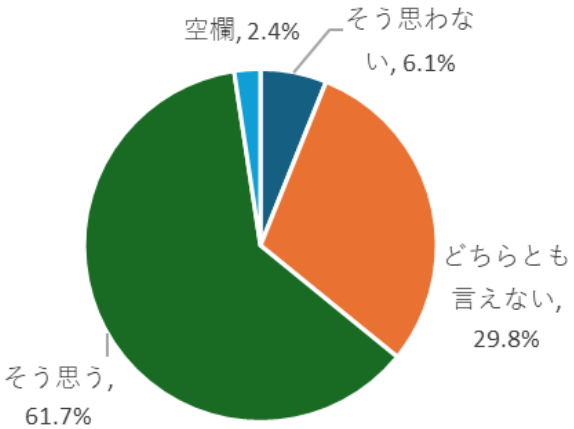
n=708

（５）ＡＩ・デジタルなどの新技術の活用を徹底すべき



n=708

（６）都市と地方の共生・循環（都市部人材の活用、関係人口拡大）を進めるべき



n=708

全設問で「そう思う」が過半数を占め、特に「若者・女性に選ばれる地域づくり」は全世代で最も高かった。一方、「AI・デジタルの新技術活用」は「そう思う」が 3～5 割にとどまり、「どちらとも言えない」の割合が高い。

（年代別集計）

（1）公共サービスを始めとする社会インフラの広域化を進めるべき

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
そう思わない	15.6%	8.6%	13.5%	11.1%	12.4%	5.2%	6.2%
どちらとも言えない	15.6%	41.4%	28.8%	34.0%	33.1%	36.2%	43.8%
そう思う	65.6%	50.0%	55.8%	53.5%	51.5%	56.9%	41.5%
空欄	3.1%	0.0%	1.9%	1.4%	3.0%	1.7%	8.5%

（2）必要なサービスの提供体制維持のため、公共施設等の多機能・集約化を進めるべき

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
そう思わない	12.5%	7.1%	7.7%	9.0%	10.7%	10.3%	10.0%
どちらとも言えない	40.6%	35.7%	29.8%	28.5%	39.1%	36.2%	27.7%
そう思う	43.8%	57.1%	59.6%	61.1%	49.1%	51.7%	54.6%
空欄	3.1%	0.0%	2.9%	1.4%	1.2%	1.7%	7.7%

（3）若者や女性にも選ばれる地域づくりを進めるべき

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
そう思わない	6.3%	5.7%	4.8%	6.3%	5.9%	1.7%	6.2%
どちらとも言えない	6.3%	14.3%	11.5%	12.5%	16.0%	22.4%	9.2%
そう思う	84.4%	80.0%	81.7%	79.9%	76.3%	74.1%	80.0%
空欄	3.1%	0.0%	1.9%	1.4%	1.8%	1.7%	4.6%

（４）能代市が持つ独自の資源（産業、技術、自然、文化など）を活用し、デジタル技術や新たなビジネスモデルを掛け合わせることで、持続可能な地域経済の発展と雇用創出を目指すべき

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
そう思わない	3.1%	5.7%	8.7%	9.0%	8.9%	1.7%	3.8%
どちらとも言えない	15.6%	27.1%	26.0%	27.1%	22.5%	22.4%	26.9%
そう思う	78.1%	67.1%	63.5%	62.5%	66.9%	74.1%	62.3%
空欄	3.1%	0.0%	1.9%	1.4%	1.8%	1.7%	6.9%

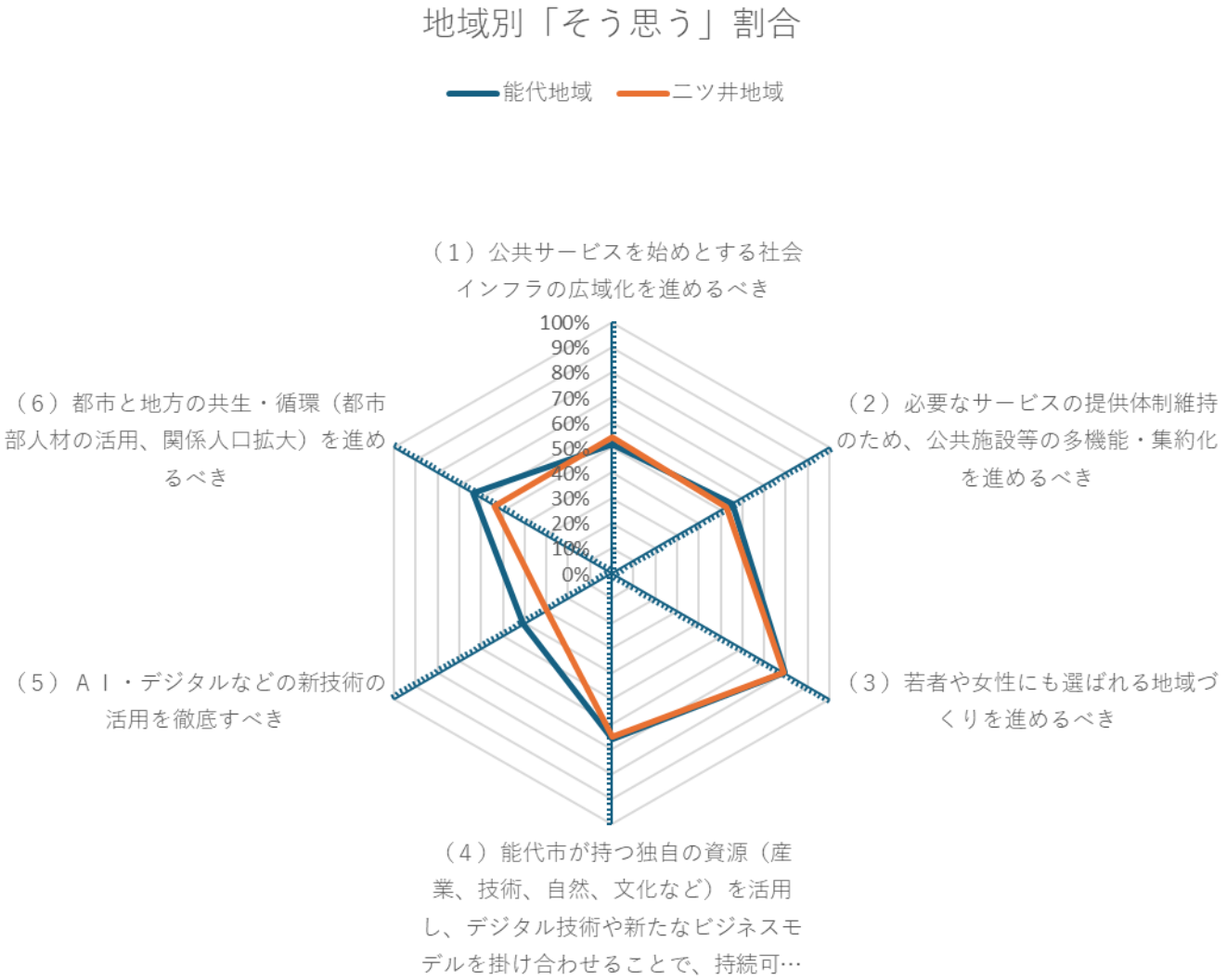
（５）ＡＩ・デジタルなどの新技術の活用を徹底すべき

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
そう思わない	12.5%	9.9%	14.4%	16.0%	12.4%	6.9%	3.9%
どちらとも言えない	34.4%	43.7%	37.5%	47.2%	53.8%	55.2%	50.0%
そう思う	50.0%	45.1%	46.2%	34.7%	32.5%	36.2%	39.2%
空欄	3.1%	1.4%	1.9%	2.1%	1.2%	1.7%	6.9%

（６）都市と地方の共生・循環（都市部人材の活用、関係人口拡大）を進めるべき

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
そう思わない	6.3%	7.1%	8.7%	7.6%	5.3%	1.7%	4.6%
どちらとも言えない	18.8%	32.9%	28.8%	29.9%	26.6%	41.4%	30.0%
そう思う	71.9%	60.0%	60.6%	61.1%	66.3%	55.2%	59.2%
空欄	3.1%	0.0%	1.9%	1.4%	1.8%	1.7%	6.2%

（地域別集計）


地域別「そう思う」割合
能代地域
二ツ井地域
（1）公共サービスを始めとする社会インフラの広域化を進めるべき
（2）必要なサービスの提供体制維持のため、公共施設等の多機能・集約化を進めるべき
（3）若者や女性にも選ばれる地域づくりを進めるべき
（4）能代市が持つ独自の資源（産業、技術、自然、文化など）を活用し、デジタル技術や新たなビジネスモデルを掛け合わせることで、持続可…
（5）ＡＩ・デジタルなどの新技術の活用を徹底すべき
（6）都市と地方の共生・循環（都市部人材の活用、関係人口拡大）を進めるべき
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%